

TIFA木曜教室開講式

4月5日、満開の桜は過ぎてしまいましたが、春の花々に囲まれながら2018年度の日本語教室がスタートしました。一同が柴崎学習館3階の作業室に会して、10時から30分位、開講式を行ないました。副会長の近藤さんの進行により齋藤会長の挨拶が終わると、立川市役所協働推進課の大須賀課長、多文化共生係の新堀係長から、思いやりにあふれた心あたたまるお言葉をいただくことが出来ました。近藤さんから、受講生が教室で戸惑うことがないようにボランティアや保育士の紹介もありました。今年度から新しく木曜教室の部長を担当する佐藤さんの話が終わると、恒例の記念撮影をして、年間40回の中の1回目の授業が開始しました。



と、立川市役所協働推進課の大須賀課長、多文化共生係の新堀係長から、思いやりにあふれた心あたたまるお言葉をいただくことが出来ました。近藤さんから、受講生が教室で戸惑うことがないようにボランティアや保育士の紹介もありました。今年度から新しく木曜教室の部長を担当する佐藤さんの話が終わると、恒例の記念撮影をして、年間40回の中の1回目の授業が開始しました。

開講式は20分程度で、式が終わってからは直ちに通常通りの勉強に入りました。今年も1年、またみんなで頑張りましょう。

西砂教室の新年度

4月7日（土）より新年度が始まりました。

受講生、ボランティアともに20名前後でのスタートです。

4月14日土曜日の授業前にボランティア講師達の間で懇親会が開かれ、今年度の教室運営について意見を交わしました。佐藤教室部長は、今年度の抱負として教室内の各組織の意見を積極的に予算に反映させ、講師全員が運営に関わる仕組みを作っていく、と語られました。また、現在、西砂教室で急増するベトナム人受講生のためのホームページのベトナム語対応、昨年、受講生に好評だった交流イベントを今年も行う事についても話題に上りました。



受講生の皆さんが、講師と交流を深めることで、楽しく日本語を学び、充実した生活が送れるよう、西砂教室は今年も活動していきます！

木曜教室ランチパーティー

3月22日に恒例のランチパーティーが行われました。1年間の学習の素晴らしい成果を発表し終わって、楽しいランチパーティーが始まりました。テーブルには飲み物とたくさんの心づくしのお料理が並びました。ドライカレー、ピーフン、サンドイッチ、ちらし寿司、海苔巻きなどに、焼き豚、きんぴらごぼう、かき菜のサラダ、スペイン風オムレツ、パイナップル、杏仁豆腐、桜餅等々お料理の博覧会です。齋藤会長の乾杯のあいさつで始まり、料理を紹介しあったりスピーチの感想を話し合ったりしながら楽しいひとときを過ごしました。4月から始まる新しい年度への期待を胸に。



土曜教室開講式

4月7日、土曜教室の開講式が柴崎学習館2階調理室で行われました。冒頭、齋藤 TIFA 会長あいさつで始まり、続いて来賓の立川市役所協働推進課の大須賀課長、多文化共生係の新堀係長より挨拶があり、外国人学習者への激励とボランティア教師への感謝の言葉をいただきました。



木曜教室スピーチ大会

3月22日に木曜教室スピーチ大会を開催しました。世界9カ国17名の受講生が、慣れない日本語で自己紹介や自国と日本の習慣の違い、或いは日本に移住するまでの数奇な運命や苦労について話してくれました。香港から来た女性は10歳でラオスの暴動に遭ってタイに逃れ、その後2年遅れて香港の小学校に編入できたとか、今年初めて日本式の正月を祝ったという中国人は、方法は違っても新年を祝う気持ちに変わりはないと話してくれました。大半の人達は、味噌汁大好きとか早く桜を見たいとか、もてなしの心は相手を大事にする事で、目配り気配り心配りは日本の文化ですなどと、日本に住み続けたい気持ちの滲み出たスピーチが多かったです。来月中国に帰るといふ女性は、立川の綺麗な空を忘れないと語ってくれました。

頼 志青 (らいしせい) 【台湾】



職業はアニメーション制作です。今まで日本には遊びで5回来ているが、今回は仕事で来日しました。もっと日本の文化を勉強して著名なアニメーターになりたいです。



張 維真 (ちょういしん) 【台湾】

アニメーターの仕事をしています。グループで新聞を読みながら、単語、アクセントの勉強をしています。



邱 伊娜 (ていいな) 【香港】

ラオスに10歳までいてクーデターを体験しました。ラオス、タイ、香港と移り住み、日本人の夫とは香港で知り合いました。今は娘3人と夫と一緒に住んでいます。



柳 丹 (りゅうたん) 【中国】

働きながら子育てをしています。5歳の娘を国分寺の保育園に預け、夫と一緒に東久留米にあるイオンモールの中料理店で働いています。家族と一緒にずっと日本で生活していきたいです。



オパール バルボサ 【オーストラリア】

シドニー生まれで夫はフランス人です。息子は2歳で6月に第2子が生まれる予定です。

尹 永錫 (いえい) 【韓国】



20~27歳まで兵役で陸軍に在籍していました。日本のIT企業に就職したい。韓国では学歴を重視し書類審査でほぼ採用が決まるが、日本では学歴のみでなく人間性で評価しているようです。



游 明修 (ゆうめいしゅう) 【台湾】

日高屋で働き、1月から正社員になりました。来日して27年になり人生の半分を日本に住んでいます。父親は日本語を話すことができ、小さい時から日本が好きでした。



モレノ プルーナ 【ブラジル】

今年の2月に来日しました。夫とはオーストラリアで知り合いました。



鄭 怡晴 (ていいせ) 【中国】

昨年10月に深圳から来ました。4月から日本語学校に行く予定です。深圳は平均年齢が32歳、人口1200万人で若い活気のある街です。

孫 拍強 (そんはくきょう) 【中国】



中国では正月に赤紙に祝いの言葉を書いて玄関に貼り、爆竹の合図で水餃子の食事をします。

鐘 明 (しょうめい) 【中国】



来日して14ヶ月です。2月末まで築地に勤務し中央線と地下鉄のラッシュを経験しました。テレビで日本の料理番組を見ますが、面倒なので作ったことはありません。4月上旬に中国に帰国します

近隣国際交流協会の活動

国分寺市国際協会は1991年に設立され、市内にある東京経済大学の教授が歴代会長を務めています。設立2年後の1993年に、国分寺市とオーストラリアのマリオン市（赤道をはさんで国分寺市とほぼ対称の位置にあるオーストラリア南部の都市）が姉妹都市となり、その頃から市民レベルの国際交流も活発になっていったようです。2018年3月31日現在、個人会員320（うち外国人79）、家族会員22、賛助会員（法人中心）11で、会員総数は353です。

協会の活動は、国際理解部会、交流支援部会、日本語教室部会、外国語部会、広報部会の5つの部会によって運営されています。

日本語教室は、昼間と夜間にそれぞれ毎週1回開催され、そのほか児童館を会場にして、親が日本語を勉強している間子どもは保育スタッフと遊ぶ「親子日本語サロン」も年間38回開催されています。3教室あわせて、延べ2,000名を超える外国人の方が参加しています。

また、外国人のおかあさんが子育てや学校のことなど身近な話題と情報を持ち寄り、家庭料理を作りながら交流する「外国人おかあさん交流会」が年間4回開催されています。このほかに2017年度は「世界のお弁当の違いを楽しもう!」というテーマで、お弁当文化の違いから、外国籍保護者が学校で困ることの気づきを図る懇談会も開催されています。昨年10月に開催された立川市多文化共生都市宣言シンポジウムでも、外国人シンポジストから「学校に外国人の子どもが増えているけれど、親同士情報交換したり、悩みを打ち明けることができる場所や機会がない。行政や学校で検討してもらえないか」といった指摘がありました。大いに参考になる取り組みです。



国分寺市国際協会の世界のお弁当の違いを楽しもう

さらに、外国にルーツのある児童・生徒の学習支援にも取り組んでいます。2017年度は小中学校に10名のサポーターを派遣し、スクールソーシャルワーカーや学校の先生方と連携をとりながら、それぞれの子どもたちをサポートしています。2017年度には東京学芸大学国際教育センターと連携協定を締結し、外国にルーツのある子どもたちへの支援の協力関係を築いていま

す。日本語をはじめとする学習支援にとどまらず、一人ひとりの子どもたちの生活に向き合い、ときには難しい親子関係を解きほぐしながらサポートしなければならないので、簡単な事業ではありません。しかし、福祉や子ども・若者支援の領域でも、支援を必要とする人に寄り添う「伴走型支援」がますます求められるようになってきています。そのような意味では、多文化共生の取り組みの中でも重要な位置を占める活動ではないかと思えます。



世界のお弁当の違いを楽しもう

そのほか、年4回開催されている国際理解講座も通算80回を超えています。「トルコと中東の現在一混迷するトルコの内政と外交を読み解く」「米国新大統領の外交と対日政策について」といったかなり硬派なテーマにもかかわらず、毎回40名を超える市民が参加されています。時宜にかなったテーマ、最適の講師を選んでおられる担当スタッフの方々のご努力がしのばれる企画です。

協会の活動はさらに多岐にわたっていますが、特徴的だと思うのはボランティアスタッフの研修制度がしっかりしていることです。たとえば、日本語教室にボランティア登録を希望する市民には、全4日8講義からなる「日本語支援ボランティア養成講座」が用意されています。すでに活動しているボランティアスタッフには2日間にわたるスキルアップ研修会が開催されます。また、子どもたちの学習支援に携わってみたいという市民を対象とした「外国にルーツのある児童・生徒の日本語・学習サポーター養成講座」も全3日5講義で開催されています。養成講座には、それぞれ30～40名の市民の方が参加されています。終了後、参加者がすべてボランティアスタッフに登録するわけではありませんが、このような講座が継続して開催されることによって、国分寺市における多文化共生の基盤が着実に広がっているのは確かだと思われます。

2018年度 日本語教室スケジュール

各部のスタッフ

柴崎学習館 木曜教室 (午前10:00~11:30)					
月	日				
	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
4	5	12	19	26	
5	×	10	17	×	31
6	7	14	21	28	
7	5	12	19	26	
8	×				
9	×	13	20	27	
10	4	11	18	25	
11	1	8	15	22	29
12	6	13	20	×	
1	×	×	17	24	31
2	7	14	21	28	
3	7	14	21	×	

柴崎学習館 土曜教室 (午後7:00~8:30)					
月	日				
	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
4	7	14	21	×	
5	×	12	19	×	
6	×	9	16	23	30
7	7	14	21	28	
8	×				
9	1	8	15	22	29
10	×	13	20	27	
11	×	10	17	24	
12	1	8	×	22	×
1	5	12	19	26	
2	2	9	16	23	
3	2	9	16	23	30

西砂学習館 西砂教室 (午後7:00~8:30)					
月	日				
	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
4	7	14	21	28	
5	×	12	19	×	
6	2	9	16	23	×
7	7	14	21	×	
8	×				
9	×	8	15	22	29
10	6	13	20	27	
11	×	10	17	24	
12	1	8	16	22	×
1	×	12	19	26	
2	2	9	16	23	
3	2	9	16	23	30

事務局	木曜	大内マサ子、柏田泰利、城育子、鈴木洋子、富田康予
	土曜	荒井由貴子 、味香建夫、高橋珠美、撰正弘
	西砂	高木一成、岩田トモ子、田中幸治
会計	木曜	鴻地昌代、小町美弥子、後藤弘子、中西久代、成田綴、 松本久 、森田眞澄
	土曜	大田和子、原島眞、前田眞希、吉澤孝一
	西砂	高橋弘美、今泉麻公子、中務珠代
企画渉外	木曜	近藤誠、山崎耕造、山下良子、山田さち子
	土曜	牛島芳 、大西一光、大西美香、坂口英治、長屋多美子、増田正道、藩勤毅
	西砂	岡田良雄、古川朋陽、後藤恵子、大橋由貴
広報	木曜	桐ヶ谷征子、関本敏雄、野口節子、小林和枝
	土曜	内野貴之、木下究、 小林保 、杉坂篤
	西砂	遠山新一郎、後藤直子、片野和江、広常幸子
木曜教室	木曜	斎藤寛、 佐藤達夫 、森和子、柳井泉、小木曾夏樹
土曜教室	土曜	小川雅子、葛敦、島田和夫、佐藤民江、杉本茂、波多野進、 的場正道 、橋本溪一
西砂教室	西砂	佐藤公男 、増泰隆、古川寛、高木美智子
会計監査	木曜	赤嶺令子
	土曜	奥田正博
	西砂	神野益臣、高橋由希子、山崎員弘

アンダーラインのある部員が各部の責任者

TIFA会員動向

【入会者】

木曜教室：なし
土曜教室：佐藤英一
西砂教室：なし

【退会者】

木曜教室：なし
土曜教室：倉谷奈美、高田史子、中込巴、原野隆典
西砂教室：佐々木博

【休会者】

西砂教室：岩田トモ子、高木美智子、増泰隆

今後の予定

- ・TIFA総会：5月19日
- ・土曜教室ボランティア研修会：6月予定
- ・西砂教室受講生講師交流パーティー：6月30日
- ・木曜教室、土曜教室七夕祭：7月予定
- ・防災館見学：7月14日